

# プラス記事 2%減、ニュートラル・マイナス記事 28%減 五輪出場選手の所属企業が上位に トヨタ、上期販売台数が2年連続世界一

7月度のプラス評価は77億5692万円、ニュートラル・マイナス評価は29億912万円だった。前月と比較するとプラス換算値は2%減、ニュートラル・マイナスは28%減だった。7月は東京五輪に所属選手が出場した企業のランクインが目立ったほか、トップ人事や大型人物コラムへの登場などで「人」の換算値が伸びた企業の順位が上昇した。

1位のファイザー（米）は今年5回目のトップとなった。自治体の新型コロナワクチン供給体制などが多数掲載されたほか、菅義偉首相とプーラCEOの東京都内での会談も話題となった。政府は10月以降に供給が予定されているワクチンの一部を8月に前倒しするよう要請し、23日から翌日にかけて全紙で報道された。

東京五輪関連では、上位20社のうち3社について所属選手の出場や試合結果が報道され、それぞれの企業の「人」の換算値が大きく伸びた。

3位ビックカメラはソフトボールの上野由岐子選

手が金メダルを獲得、11位旭化成は柔道の太田将平選手と永瀬貴規選手の2人が金メダルを獲得して注目された。12位NTT東日本は、日経の五輪特集「VisualTokyo2020」でバドミントンの桃田賢斗選手が取りあげられ、この記事1件で換算値5288万円にのぼった。

4位トヨタ自動車は、2021年1～6月のグループ世界販売台数が過去最高を更新して2年連続の世界首位となったことが30日の全紙で記事化された。各紙とも米国や中国での販売好調を要因にあげ、朝日は「新型コロナの感染を避けようとするクルマでの移動が好まれていることが追い風」と解説した。そのほか、トヨタ・日野自動車・いすゞ自動車の合併会社にスズキとダイハツ工業が出資することを発表し、「大型から小型まで商用車を全方位で開発する体制が整う」（日経）と注目された。

ほか自動車では、20位日産自動車も2022年3月期決算が黒字見通しとなることが報じられた。

## プラス記事掲載ランキング

換算値:千円

順位	企業名	換算値	主要な掲載要因
1	ファイザー(米)	199,539	政府が新型コロナワクチンの供給前倒しを要請へ。「商品」75%、「技術」10%。
2	JR東日本	157,432	朝日「歴史のダイヤグラム」に米坂線と只見線。五輪期間中の運行予定など。
3	ビックカメラ	150,517	ソフトボールの上野由岐子選手が東京五輪で金メダル。「社員」91%。
4	トヨタ自動車	136,833	2021年上半期の販売台数が過去最高の546万台で世界首位に。「販売」25%。
5	グーグル(米)	125,551	スマホ決済企業を買収、日本での金融事業に参入へ。「提携・合併」29%。
6	日立製作所	111,646	中西宏明元会長が死去。米ITのグローバルロジック社の買収が完了。
7	富士通	109,550	読売「LEADERS 経営者に聞く」に時田隆仁社長が登場。「社長・会長」53%。
8	アマゾン・ドット・コム(米)	100,882	ジェフ・ベゾス氏がCEOを退任、後任にアンディ・ジャシー氏。「人」47%。
9	東京ドーム	99,557	読売と共催の「恐竜展2021」特集。ほか高校野球東西東京大会の準決勝など。
10	ホンダ	95,524	EUの新環境規制に対応してEV化計画の前倒しを検討。「経営」32%。
11	旭化成	94,878	柔道の太田将平選手、永瀬貴規選手が東京五輪で金メダル。「社員」81%。
12	NTT東日本	83,153	東京五輪に出場したバドミントンの桃田賢斗選手など「社員」78%。
13	ツイッター(米)	80,148	3万7000人を超えるフォロワーを持つ森下仁丹の公式アカウントを毎日が紹介。
14	東京メトロ	75,531	株式上場に向け、国と都が保有する株式を売却することで合意。「経営」74%。
15	日本航空	73,042	2025年度にドローン型機体で「空飛ぶクルマ」事業を始めると日経が報道。
16	安川電機	71,300	読売「LEADERS 経営者に聞く」に小笠原浩社長が登場。「社長・会長」82%。
17	任天堂	69,857	『ニンテンドースイッチ』新モデルの10月発売を発表。「商品」93%、「生産」6%。
18	日本総合研究所	67,421	藻谷浩介主席研究員のインタビューや寄稿など「人」99%。
19	パナソニック	67,229	中国で建設中の高齢者向け住宅を公開。ほか電動アシスト自転車など。
20	日産自動車	64,232	2022年3月期決算が3期ぶりに黒字見通し。英国でEV電池工場を新設と発表。